

犯人シリウス

Sirius is the culprit.

Rule Book

3-5人 10-20分 7歳以上

◆ ゲームの背景

ここは錬金術が繁栄する国アルテミス。

ある夜、女王が暗殺された。

現場に残されたのは一つの紋章と、謎めいたコードネーム——「シリウス」。

新たに即位した女王は高らかに布告する。
「組織からシリウスを差し出せ。
従わぬならば全員を裁く」と。

しかし組織の誰も、その顔も素性も知らない。
追い詰められた構成員たちは互いを探り合い、やがて一人に罪を押し付けるしかないと決断する。

真実が分からぬなら——
そうだ、犯人を決めちゃおう！

犯人はシリウス！お前だ！

◆ 内容物

◆ 構成員カード 計5枚

5種 各1枚

スノー ホワイト ツバキ ウィンディ ガーネット ルーナ



◆ 罪状カード 計5枚

5種 各1枚

暗殺 クローン 生成 金の錬成 ねずみ講 スパイ



◆ 手札カード 計40枚

情報交換 5枚 相談 5枚 監視 2枚 発見 6枚



すり替え 3枚



墓あらし 6枚



告発 7枚



組織への裏切り 1枚



証拠



5種 各1枚

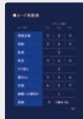
裏



◆ サマリー 計10枚

2種 各5枚

表 裏 表 裏



◆ 説明書（本書） 2枚

◆ ゲームの概要

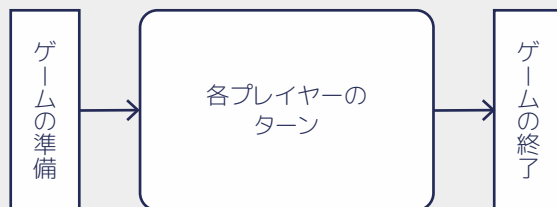
プレイヤーは闇の錬金術を扱う違法組織の構成員となります。国からの差し出し命令に応えるため、犯人である「シリウス」を1人、決定することになりました。

プレイヤーはそれぞれ隠された余罪を抱えています。ゲーム中、手札の「証拠」のカードを用いて、他プレイヤーの罪を「告発」することができます。「証拠」が罪と対応していれば、告発は成功。自らの罪を他プレイヤーになすりつけ、ゲームに勝利することができます。

「シリウスはお前だ!」

◆ ゲームの流れ

◆ ゲーム全体の流れ



◆ ゲームの準備

1. 「構成員カード」と「罪状カード」を、それぞれ1枚ずつ、各プレイヤーにランダムに配ります。各プレイヤーはカードの内容を自分だけ確認します。

「構成員カード」と「罪状カード」は、ゲーム中は各プレイヤーの前に裏向きで置きます。自身の「構成員カード」と「罪状カード」は任意のタイミングで内容を確認できます。

2. 手札カードを裏向きのままシャッフルし、各プレイヤーに6枚ずつ配ります。各プレイヤーは配られたカードを自分だけ確認し、手札とします。残りのカードは裏向きのまま山札にします。
3. 任意の方法で、一番最初の手番プレイヤーを決定します。

- ◆ プレイ人数により山札(+手札)に含まれる各カードの枚数が変わります。

各カード枚数

プレイ人数	情報交換	相談	発見	墓あらし	告発	他	総枚数
3人	3	3	3	3	4		27
4人	4	4	4	4	5	11	32
5人	5	5	6	6	7		40

※「監視」「すり替え」「組織への裏切り」「証拠」の枚数は共通です。

◆ ゲーム開始時の配置

山札



捨て札置き場

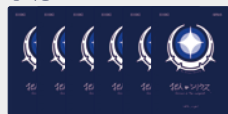
構成員カード



罪状カード



手札



各プレイヤーごとの配置

◆ 手番の流れ

1. 自分の手番開始時にカードを1枚引き、手札に加える。
2. 下記から1つ選び実行する。
 - 手札からカードを1枚公開し、効果を使用する。使用したカードは捨て札に置く。
 - 手札にある「証拠」「告発」をそれぞれ1枚ずつ使用し、「告発」(後述)を行う。
 - 構成員カードのスキルを使用する。スキルはゲーム中1回のみ使用できます。使用時に構成員カードを公開し、以降は公開情報となります。
 - (※手札にあるカードの効果が使用できない場合に限り) 手札を1枚捨て札に置く。
3. 左隣のプレイヤーに手番を移す。

プレイヤー全員の勝敗が決まるまで、各プレイヤーの手番を繰り返します。

👉 告発

- 証拠を突きつけろ! -

手札にある「告発」カードと「証拠」カードそれぞれ1枚ずつを、同時に使用することで「告発」を行います。

告発を行う際は、「シリウスはお前だ!」と宣言しましょう。



証拠カード 告発カード

好きな言葉で他プレイヤーに証拠を突きつけ、罪人を告発しましょう。

告発に使用した「証拠」が、告発されたプレイヤーの「罪状カード」の証拠である場合、告発は成功します。

○ 告発の成功

告発されたプレイヤーは「罪状カード」を表にし、全体公開します。

告発したプレイヤーは、自身の「罪状カード」を裏向きのまま告発されたプレイヤーに渡し、罪をなすりつけます。

※告発されたプレイヤーの持つ罪状カードの数が増えます。

告発に成功したプレイヤーは、**ゲームに勝利します**。自身の手札を全て捨て札に置き、**構成員カード**を公開します。以降のゲームからは離脱となります。

✕ 告発の失敗

告発されたプレイヤーは、**告発**が失敗していることを伝えましょう。

「罪状カード」の内容は公開せず、裏面のままゲームを続行します。

告発の成功および失敗にかかわらず、使用した「告発」カードと「証拠」カードは捨て札に置きます。

罪状カードは5種類あります。それぞれに対応する証拠が一枚ずつ、山札と手札に紛れています。



暗殺 クローン生成 金の錬成 ねずみ講 スパイ

◆ ゲームの勝敗

勝利条件

- ① 告発に成功する。
告発に成功したプレイヤーが勝ち抜けします。
(他プレイヤーが「組織へ裏切り」を公開した場合を除く)
- ② 「組織への裏切り」を公開する。

敗北条件

- ① 他プレイヤーが全員「告発」に成功し、自分1人だけが罪状カードを押し付けられた状態でゲームに残る。
- ② 手札が0枚となる。

◆ Q&A

説明書を確認した上でルールに不明点がある場合は、サイト内のQ&Aをご参照ください



Credit

ディレクター、ゲームデザイン	ponta smith
イラスト	/sdk. たけの ブーチ
パッケージ、カードデザイン	/sdk.
ルールブックデザイン	たけの
発売日	2025/11/22
制作	リトル  イイト
X(旧Twitter)	@littleeights02
website	https://littleeights.com
mail	littleeights02@gmail.com

◆ カードの効果

◆ 手札カード



情報交換

任意のプレイヤーを1人選び、手札からランダムに1枚引く。自分の手札から1枚選び、そのプレイヤーに渡す。
(受け取ったカードを渡すことはできない)



相談

右か左のいずれかを指定する。全員、その方向の隣のプレイヤーの手札から、ランダムに1枚引く。



監視

プレイヤーを1人選び、自分だけ手札を全て確認する。



発見

プレイヤーを1人選び、「罪状カード」の内容を自分だけ確認する。



すり替え

任意のプレイヤー2人を選び、「罪状カード」を裏向きのまま入れ替える。
(自分を含んでもよい)



墓あらし

手札を1枚選び、捨て札に置く。
捨て札から1枚選び、手札に加える。
(捨てたカードを選ぶことはできない)



告発

手札カード「証拠」と同時に使用する。
他プレイヤーを「告発」できる。



組織への裏切り

自分のターン開始時、手札がこの1枚のみの場合、全体公開する。
ゲームに勝利する。
他のプレイヤーは全員敗北する。
このカードは捨てることができない
(「告発」を行いゲームに勝利した場合を除く)。



証拠 (5種)

「告発」に必要。
各「罪状カード」に対応する。

◆ 構成員カード



スノーホワイト

指名したプレイヤーの手札を全て確認し、1枚選び自分の手札に加える。
自分の手札から1枚選び、そのプレイヤーの手札に加える。その後、自分の手札を1枚選び捨て札に置く。



ツバキ

自分の手札を1枚選び捨て札に置く。
捨て札にあるカードを1枚選び
(「告発」「証拠」「組織への裏切り」を除く)、その効果を使用する。



ウィンディ

捨て札の「証拠」カードを1枚選ぶ。
その証拠を用いて、手札にある「告発」カード1枚で「告発」できる。



ガーネット

捨て札のカードと自分の手札を2枚まで入れ替える。その後、自分の手札を1枚選び捨て札に置く。



ルーナ

他プレイヤー1人の構成員カードと罪状カードの内容を自分だけ確認する。
その後、自分の手札を1枚選び捨て札に置く。

Ending

「ご報告します、女王陛下。組織内での告発は無事に行われ、ひとりが“シリウス”として差し出されました。女王が組織を隠れ蓑にされていた様々な実験は全て“今回のシリウス”の罪となりました。」

薄暗い室内、静かに頷く女王。代々受け継がれてきたその瞳は、今も変わらず冷やかだ。彼女は己の死をも利用し、今回も次代の女王として再び玉座に就いたのだから。

ルーナは無表情のまま言葉を続ける。「これで、すべて思い通りに——ですね、母さま」